

## サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：令和元年11月21日（木） 20時30分～22時30分

2. 開催場所：Shot Bar 周太郎（大阪府豊中市曾根西町3-5-33）

3. 関係団体等：なし

### 4. 役割

コーディネーター：中村征樹（大阪大学准教授・日本学術会議連携会員）

ゲスト：田畑菜峰（京都大学大学院生命科学研究科大学院生／理化学研究所 JRA）

### 5. 概要：

今回のサイエンスカフェは、「妊娠出産にまつわるサイエンス」をテーマに行われた。

当日ははじめに、卵子と卵母細胞の関係、卵母細胞の特徴、出産の高齢化に伴う染色体異常の問題など、卵子をめぐる概要についての説明が行われた。また、女性の社会進出への寄与など、ゲストの田畑さんが現在の研究を志した理由が語られた。また、研究を進めていくうえで、期限内で結果がでるようなかたちで実験を進める必要性と、自分の研究上の興味関心のあいだでどう折り合いをつけていけばいいのかについての葛藤も語られた。

また、話題は生殖技術をめぐる倫理的問題にも及んだ。マウスでは卵子も精子も iPS 細胞から作成することが可能となっているが、そのときの倫理的問題についてどう考えるのか。卵子凍結技術や、受精した卵子の利用も含めて、どう考えていけばよいかについて、参加者を交えて意見が交わされた。また、中国でゲノム編集技術を使って双子が誕生した問題も議論になった。

そのほか、人工子宮や生命技術の未来など話題が多岐におよんだほか、参加者からは具体的な研究の進め方や、この分野でおすすめの本などさまざまな質問も寄せられ、議論の尽きない一夜となった。

### 6. 参加人数：

講演者等：3名

その他の参加者：14名

### 7. 特記事項：

会場となった「Shot Bar 周太郎」には、サイエンスカフェの趣旨に賛同いただき、参加者に1ドリンク以上の注文をお願いすることで会場を無償で提供いただいたほか、常連客へのイベントの告知にも協力いただいた。また、ゲストのドリンクについてサービスしていただいた。